

令和7年度 第3回青森市子ども会議

- 1 日 時** 令和7年7月30日（水）9時30分～15時00分
- 2 場 所** 青森市総合福祉センター 2階大集会室
- 3 出 席 者** 子ども会議委員10名、ファシリテーター1名、事務局2名
- 4 活動内容**
- (1) グループ活動
 - (2) 青森ねぶた祭に向けて

5 開催概要

グループ活動と、青森ねぶた祭での子どもの権利普及啓発活動に向けて、花笠マスコット制作の続きを配布セットを袋に詰める作業を行いました。

グループ活動

それぞれのグループに分かれ、グループ名と前回の話し合いで決めた8月の活動計画の詳細を考えました。

まずは、グループ名について考えました。観光・まちづくりグループでは、「Let's go!」を使いたいという案は出ていたものの、その他の案が無かったので考える時間を作り、その後みんなで意見を出し合いました。その意見の中から委員が作ってくれた投票用紙で投票し、ポイント制で「Town make」という、難しすぎず聞き馴染みのある言葉が選ばれました。そこから再度決定に向けて話し合いをし、前回出していた案の「Let's go!」を合わせて、「Let's go! Town make」に決まりました。

子どもの権利グループでは、前回出た案である「青森ライト」について、ライトには「Right(権利)」と「Light(光、明るさ)」という2つの意味があることを再度説明し、青森ライトだけでは意味がわかりにくいため今年度のグループの思いをサブタイトルで付け、「青森ライト～権利で青森の明るい未来へ～」に決まりました。

活動計画の詳細は、将来、より良い青森市にするためにどのような観点で調査をするか、どのような流れで作成していくかなどを話し合いました。



青森ねぶた祭に向けて

後半は、配布セットの封詰めを行いました。ねぶた祭では、前回考えた子ども会議と子どもの権利相談センターの紹介チラシと子どもの権利相談センターの携帯カード、ティッシュ、鈴を袋に入れて配布します。みんなで話し合いながら役割を決め、手分けして行ったため約800個を1時間半で用意することができました。

次に花笠マスコットの完成に向けて、前回、青森市社会福祉協議会のボランティアアドバイザーに教えてもらった作り方を確認しながら、また、前回いなかつた委員には作り方を教えながら作業しました。花笠マスコットの作業も役割を決め作業し、最後に子ども会議や子どもの権利相談センターの紹介が記載されているミニ紙を入れて袋詰めをして、約100個を完成させることができました。

